

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2211012	提出日	令和 6年 1月 17日
学生氏名	飯田 静空		
論文題目	クラウドソーシングを用いた主観指標に基づく暑さ・頭痛発生検知		
要旨			
<p>潜在的な概念や状況を指標として定量化することは、学術の進展や実社会への応用のための重要なアプローチである。近年、暑さや頭痛は日本の深刻な社会問題となっており、実際の感覚を考慮した上でこれらを定量化することは、人々の潜在的な感覚の正確な理解へ繋がる。これまで、人間の暑さや頭痛発生を調査した研究では、これらの概念を定量化するために客観的なデータが用いられてきた。例えば、暑さでは、気温や湿度などの気象データに基づく指標が用いられ、頭痛発生では、頭痛薬の販売数や救急外来を受診した頭痛患者数などの指標が用いられる。一方で、客観的なデータに基づく定量化は、人々の実際の感覚を正確に反映できていないことから、不正確な感覚の理解に伴う被害や研究結果の相反に繋がっている恐れがある。被験者の日記を用いて主観的なデータを収集する研究もあるが、大規模且つ長期間のデータ収集は困難な場合が多い。そこで本論文では、暑さや頭痛発生の指標に大規模なデータを毎日収集可能なクラウドソーシングを用いて、主観性を考慮した暑さ・頭痛発生の指標(主観指標)を構築する。この指標に基づく暑さ・頭痛発生検知のタスクを通して、暑さの感覚特性及び気象と頭痛発生の関係性を調査し、クラウドソーシングが暑さ・頭痛発生を分析するための有効なデータソースになり得ることを示す。</p>			